

遮光カーテン評価方法で遮光一級を5段階表示へ(NIF)

一般社団法人日本インテリアファブリックス協会(NIF)は、カーテンおよび布製ブラインドの「遮光一級」を、さらに5段階に分類、表記すると発表した。

より厳密な機能表示を市場が要望していることから「NIF法:特許 第5437308号」に基づき分類するもの。

「遮光一級」は遮光率99.99%以上であり、「人の表情が識別できないレベル」の暗さを担保しているが、より厳密な機能表示をすることで一般消費者が商品を選択する際の目安を示す。

なお、使用許諾申請はNIFの正会員、賛助会員に限られる。

◎遮光カーテンの遮光評価方法

- ◆ 遮光一級(A++) = 生地からはほとんど光を感じない。
- ◆ 遮光一級(A+) = 生地からわずかに光を感じる。
- ◆ 遮光一級(A) = 生地から光を感じるが、生地の織り組織や色は分からない。
- ◆ 遮光一級(B) = 生地から光を感じ、生地の織り組織や色も分かる。
- ◆ 遮光一級(C) = 生地全体は薄明るく見えるが、人の表情が識別できない暗さ。

東京室内装飾新聞(第624号)より引用